

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 29-008

PDCA	事務事業名	生涯学習推進事業	部課等名	教育部 生涯学習課 生涯学習担当	担当	富田		
					内線等	257241		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち						
		節： 第2節 生涯学習の推進						
		基本施策： 1. 生涯学習						
		単位施策： (2) 生涯学習支援のしくみづくり						
	根拠法令等	第2次半田市生涯学習推進計画（はんだ学びプラン）						
	対象・目的	市民一人ひとりが、いつでも、どこでも、だれもが楽しんで学習に取り組むことができ、さらに「ひとづくり」「まちづくり」につながる活動が広がるよう学習活動の支援や環境整備を推進する。						
	目的を達成するための手段・活動内容	・市民が学習成果を生かし、市民同士で学び教え合う機会を設けるため、「市民企画講座」を継続的に開催する。 ・社会福祉協議会やNPOなどと協力し、市民企画の講座開催を支援し、充実させる。 ・ゲストティーチャー（市民ボランティア講師）研修会など、ゲストティーチャーのフォローアップを行い、ゲストティーチャーの資質向上を図ることで活躍の場を増やしていく。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		28年度	29年度	30年度	単位	
		①講座受講者数		5,407	4,164	4,348	人	
		②講座開催回数		286	287	294	回	
		③						
		事業費		923	1,011	807	千円	
		人件費		6,943	5,454	5,035	千円	
		総事業費		7,866	6,465	5,842	千円	
		活動単位当たりのコスト		28年度	29年度	30年度	単位	
	①講座参加者1人当りの事業コスト		1,455	1,552	1,343	円/人		
	②							
	③							
	成 果	成果指標		28年度	29年度	30年度	単位	
		①市民企画講座数	実績値	58	64	61	件	
			目標値	95	95	95		
②ゲストティチャー登録件数		実績値	179	191	190	件		
		目標値	180	180	190			
③		実績値						
	目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	※対象・手段の変更		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地		ない
	事業の評価・課題	B						
		教えたい人が教える環境整備がすすみ、講座開講経験者だけでなく講座開講の少経験講師の企画も増え、開設するなど講座数は増加している。そのため、学びたい市民に学びの機会を提供できている。市民企画講座の開講者は継続の方も増えてきており、更に新規分野の講座を開講していくことで、市民の学びの場が広がるようにしたい。						
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
			ゲストティーチャーの登録を整理しつつ、講座開設分野の拡大を図る。また、市民のニーズに沿った学びを提供し、新規受講者の増加を目指す。生涯学習講座全体を見直し、事業を整理することで、幅広いニーズや年代にあった講座開設を目指す。また、市民活動団体の学びの場を確保するため、開設講座を整理し、市民が積極的に学び続けようとする環境を整備する。					
		令和元年度の目標	成果指標				目標値	単位
			①市民企画講座数				70	件
②ゲストティチャー登録件数				190	件			